

奄 美 大 島 の 白 い 砂 浜 ： 波 と 魚 の 働 き

奄美大島は、透明度の高い青い海と、島全体を覆う深い緑の森と対照的な白い砂浜が有名。砂の色は、元になる物質で成り立っているが、奄美大島の白い砂はいくつかの元でできている。一つは沖合のサンゴの白い骨格が何千年、何百万年の時を経て、波によって壊され、削られた残骸が海岸に運ばれたもの。砂をよく見ると、サンゴと同じ成分の炭酸カルシウムでできた貝殻の破片もある。また、ブダイなどの生物はサンゴの骨格を藻と食べ、消化できないサンゴを体内ですりつぶし、排泄し、砂浜の形成を手助けしている。魚 1 匹から 1 年に 100kg 以上の砂を作り出すことができる。